政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2014年9月24日～10月6日） 深尾　昌峰：公益財団法人京都地域創造基金理事長

| 質問事項 | | 選択式回答 | 記述式回答 |
|---|---|---|---|
| 経済動向 | | | |
| 1-1 | 現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。 | 悪くなっている | 目立った変化は感じないが、10月からの様々な商品やサービスの値上げが生活者の空気を押し下げている実感はある。 |
| 1-2 | 今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。 | － | 急激な円安の進行による中小企業及び生活への影響は注視する必要がある。 |
| 経済再生と両立する財政健全化 | | | |
| 2 | 財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。 | － | 歳出削減努力はもちろんのこと、公共サービスの大胆な改革が必要。構造を「改造」する必要がある。<br>政府依存型の公共サービス構造から、地域が主体となり民のチカラを引き出しながら持続的な社会構造に転換して行かなければならない。<br>社会的投資の活性化を促し、構造改革を促すべきである。 |

政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） 深尾　昌峰：公益財団法人京都地域創造基金理事長

| 質問事項 | | 選択式回答 | 記述式回答 |
|---|---|---|---|
| 女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方 | | | |
| ３－１ | どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。 | － | 税制及び社会保障制度は抜本的な見直しと国民の意識改革が必要だと考える。女性の働き方や生き方が現実的には１０３万円あるいは１３０万円の壁によって規定されている部分は否めず、より公正な制度設計を行うべきである。 |
| ３－２ | 女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。 | － | 男性も女性も共に等しく社会で活躍できる環境づくりが必要である。その際に女性が活躍できる環境整備は必要だが、同時に男性の意識改革も必要である。過度な「男らしさ」意識は、強くなくてはならない、扶養せねばならないとの認識に陥り、過労死や自死を導くこともある。<br>女性登用の推進等適切なアファーマティブアクションの必要性は認めるが、行き過ぎると逆差別等の問題も引き起こす。最重要なことは様々な意思決定者の選考プロセスに女性を登用すること。<br>子育て支援等に関しては、民間のNPO等のサービスを積極的に活用できる環境整備が重要。現金給付型からバウチャー制度への移行させることで多様なニーズに応えられる。 |